

議会だより

やまと

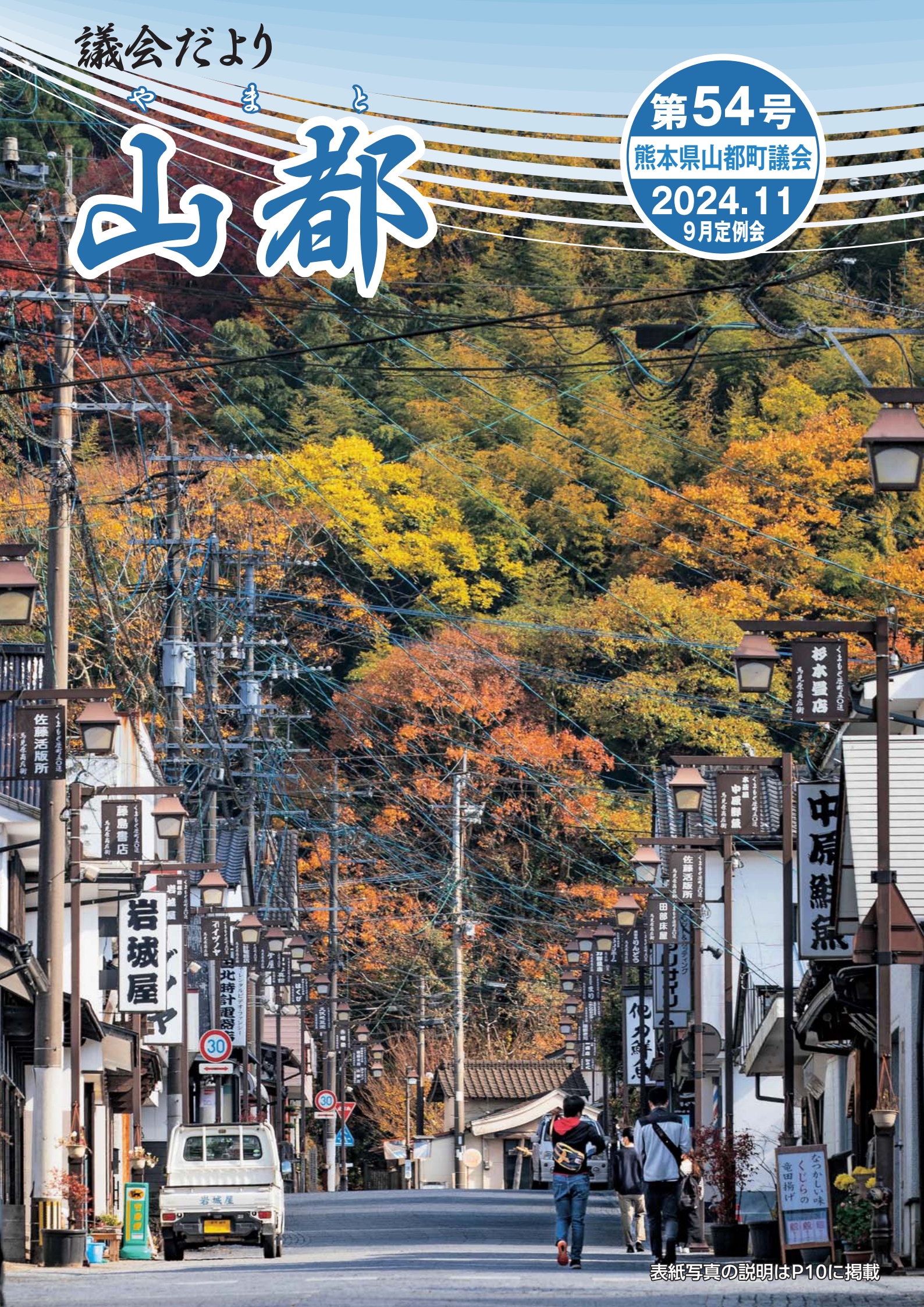
山都

第54号

熊本県山都町議会

2024.11

9月定例会



9月定例会

令和6年第3回定例会は、9月5日に開会し27日に閉会しました。

【議案】条例改正・制定(6件)、補正予算(5件)、工事請負契約(3件)、その他(3件)、報告(2件)、追認議案(8件)、令和5年度の一般会計・特別会計における決算審査

令和6年度一般会計補正予算（第3号）

令和6年度一般会計補正予算は、8億1,000万円を追加し総額**181億9,400万円**となりました。主な内容は次のとおりです。

・ 合併20周年記念式典運営委託料	200万円
・ ふるさと応援基金積立金	2億2,214万6千円
・ ふるさと寄附金事業 （謝礼品、謝礼品送料、システム等手数料も含む）	1億6,100万円
・ 山都町定住支援住環境整備事業補助金	1,000万円
・ 山の都定住支援事業補助金	1,000万円
・ 上益城広域連合負担金（廃棄物処理施設整備分） ※これについて、減額の修正動議が出されました。修正理由、質疑、結果は次ページに掲載しています。	1,160万円
・ 山都町キャッシュレス決済ポイント還元事業運営業務委託料	2,300万円
・ 施設開設準備経費助成特別対策事業補助金	1,660万円
・ 社会教育施設整備費補助金返還金	88万9千円
・ 攻めの園芸緊急生産対策事業補助金	330万6千円
・ 道路維持費 重機借上料	200万円
・ 現年度農業施設災害復旧費	3,472万円
・ 現年度林業施設災害復旧費	3,314万5千円
・ 現年度公共土木施設災害復旧費	3,720万円



農地災害（小峰栃原地区）

水道事業会計補正予算（第2号）

- ・ 収益的支出に316万4千円を追加
- ・ 資本的支出に 4,567万円を追加

（質疑応答）

問（西田）PFOS、PFOAの検査場所と、河川検査についての説明を。

答（環境水道課長）水源地34箇所のうち、昨年度8箇所終了。本年度26箇所を行う。河川については、一般会計の水質検査の方で対応したい。

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）について

有機フッ素化合物であるペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）とペルフルオロオクタン酸（PFOA）は、環境中で分解されにくく、高い蓄積性があることから、国内外において製造、使用等が規制されています。

修正動議

執行部の予算案に対して、項目の一部を削除した修正案が発議されました。

発議者

西田由未子 坂本幸誠

修正理由

上益城広域ごみ処理施設建設にあたり、土地造成に関する費用分担について、その規約改正が必要。そもそもまだ、産廃施設を建てたい業者の環境アセスメントが終わっていない。どんなものが建てられるかわからない段階であり、時期尚早である。

一般会計補正予算の中の質疑

問（藤原） 広域連合負担金は、義務的経費である理由は、

答（総務課長） 広域連合の経費は、規約に基づき関係町の負担等で充てることになっているため、予算計上をする必要がある。

問（眞原） もし、予算計上されない場合はどうなるのか。

答（総務課長） 地方自治法上、義務的経費であるため、町長は理由を付して再度議案を出すことになる。それでもまた削除がみとめられた場合は、議決を得ずに予算計上できる。

結果

賛成少数で否決

一般会計補正予算

質疑応答

問（藤川） 山都町定住支援住環境整備事業補助金、定住支援事業補助金についての説明を。

答（山の都創造課長） 当初予算を大幅に上回る申請や相談が寄せられていることによる補正。

山都町定住支援住環境整備事業補助金は、町外からの定住目的で5年以上の居住を確約できる者に対し、住宅取得経費の2分の1を補助、上限は100万円。

定住支援事業補助金も同じく、空き家の改修、引っ越し費用、家財や不要物撤去に対し、経費の5分の4以内を補助、上限は100万円。

問（藤川） 介護施設の開設準備補助金の説明を。

答（福祉課長） 清和地区の訪問看護事業者が、需要増のため、矢部地区で新たに事業所を開設するための準備金2360万円。

問（藤川） キャッシュレス決済ポイント還元事業について、商品券等にしない理由を。

答（商工観光課長） 今回も、物価高騰の影響及び山都通潤橋インター開

設に伴う誘客、冬場の消費喚起のため、キャッシュレス決済ポイント還元事業の実施を判断した。前回実績として、年代が高い層での利用も増えている。

問（工藤） 熊本土土地利用型農業競争力強化支援事業についての町の補助の説明を。

答（農林振興課長） 島木のライスセクターについては、総事業費190万円、補助対象経費172万7273円。県1/2補助。

攻めの園芸緊急生産対策事業補助金については、総事業費727万4300円、補助対象経費661万3000円、県1/3の補助と町の補助は110万2千円。

問（工藤） 町道の維持管理における機械のレンタル料補助金の住民への周知はどのようにしているのか。

答（建設課長） 住民への周知は、今後考えていく。今の所実施していないが、オペレーターのない団体からの申請については、今後協議をしていきたい。

問（興梠） 農災、林災、公共災の進捗状況は。

答（農林振興課長） 農林災についての今回の補正は、農地8件、施設9件、林災2件。

令和2年災238件は完了。令和3年災は344件あり、残り26件。令和4年災は44件あり、残り4件。令和5年災は326件で289件が発注済み。

答（建設課長） 公共災についての補正は、今年の豪雨災害で河川2件、道路6件。台風10号で大体20件。令和2年災まで完了。令和3、4年災まで発注済み。令和5年災は234件、30億ほどの被害。県と調整中。



モアを使つての草刈作業



よしかわ みか 議員
吉川 美加



全質問の動画は
こちらです

道の駅の観光案内所としての役割りと、通潤橋周辺の駐車場不足について

問 昨年9月25日、通潤橋国宝指定の吉報があり、今年は道の駅の開駅、山都通潤橋インターの開通など、観光客増加への条件がそろってきたが、町の玄関口通潤橋インターから通潤橋への道案内が分かりにくい。

答（建設課長） 山都通潤橋インター開通前には地域振興局や警察などと協議しながら道路標識を整備した。最近ではカーナビ等を使って来町される方が多いと認識しているが、要望が高ければ改善の余地はある。

問 道の駅の観光案内機能が乏しいと感じる。対策は。

答（商工観光課長） 道の駅の利用は24時間対応となるが、物産館やレストランなどの営業終了後の情

報提供が限られることは認識している。今年度、観光情報のデジタル化事業を展開する。各道の駅で二次元コードを読み込むことで、観光客に観光情報の動画や各施設情報を多言語化したものを提供する予定だ。閉館時でも対応できる取組みをしていく。

問 観光客の町への印象を損なわないためにも、通潤橋周辺の駐車場不足は課題だと思うが。

答（商工観光課長） 通潤橋周辺の駐車場を最大値で整備することは難しいと考えている。通潤橋だけの観光に終わることなく、町中心地での滞在を延ばす取組みも含めて考えていきたい。

答（町長） 通潤橋前の整備については駐車場の確保も考えるが、経済波及効果を得られるよう地域住民、商店街の皆さんと一緒に考えている。



山都通潤橋インターチェンジ付近

地域の環境整備について町の取組みを問う

問 農道、林道の管理に関し草刈り機「モア」利用は補助対象となるか。

答（農林振興課長） 地元で管理される、農道・林道においては受益者での管理となる。農道においては、中山間地域等直接支払い制度や、多面的機能支払い制度を利用し、「モア」等の活用は可能である。林道においては、モア等の機器の使用に関して助成するか検討が必要。今後状況を見ながら検討したい。

問 町道の管理について、町の実施、地元実施の区分の仕方は。また、町道の地元管理における「モア」の使用は可能か。

答（建設課長） 町道の1



ごとう としひろ 議員
後藤 寿廣



全質問の動画は
こちらです



草刈り機「モア」

級、2級及びスクールバス路線等幹線道路については町で管理し、その他の町道については、地元で管理していただく。その場合、「バックホウ」「ハンマーモア」「高所作業車」等の機械借り上げ料（リース料）については機械のリース会社に直接、町が支払っている。リース会社から借上げの場合は「区長」「組長」等が代表になり町に対し「道路工事施工承認申請書」「リース代金の見積書」等関係書類を添えて申請の事。

問 町づくりの団体の今後について「清和資源」「まちづくりやべ」の統合は考えられないか。

答（企画政策課長） 第3セクターは役場とは別の法人なので統合の方法や双方の考えが一致しないと実現には至らないと考える。



にしだ ゆ み こ
西田由未子 議員



全質問の動画は
こちらです

上益城5町広域ごみ処理施設建設予定地の敷地造成予算について問う

問 産業廃棄物処理施設を建てたい民間業者の環境アセスメントも終わっていない中、造成のための予備設計予算がなぜ計上されるのか。

答（環境水道課長） 造成工事と施設建設工事の範囲を明確にし、造成工事に必要な費用や工期、工法を選定するため。

問 土地取得の際、建物と住宅は100メートルは離すということだったが、そのようになるのか。

答（環境水道課長） 今回の設計には建物の配置は含まない。建物の配置については、事業者が出す方法書の中で検討される。

問 一般廃棄物処理施設なのか、産業廃棄物処理施設なのか、決まっていない中で、予備設計予

算の各町負担割合についての協議には規約改正が必要だったのではないか。

答（環境水道課長） 産業廃棄物処理施設に、一般廃棄物処理を委託するということも含まれての規約だと思う。

問 環境アセスメントが終了したあと、この施設が適切かどうか判断するのはどこで、その判断基準は何か。その決定に当たるまでの会議は公開し、議事録をきちんと残してほしい。

答（町長） 5町の首長で判断することになる。判断方法と基準は検討中。議事録についても広域連合と協議する。



工事請負契約

議案第70号

工事名 山都町運動公園ちびっこ運動広場整備工事
工事場所 山都町長原地内
契約金額 92,787,750 円（税込み）
契約相手方 大栄企業 株式会社
内 容 植栽工（芝生）、造形工（築山）、管理施設整備工（フェンス）、遊戯施設整備工（遊具）、建築施設設置工（東屋）等

議案第71号

工事名 山都町運動公園中央グラウンドナイター照明整備工事
工事場所 山都町長原地内
契約金額 142,164,000 円（税込み）
契約相手方 株式会社 新星（熊本市東区神園2丁目1番1号）
内 容 照明設備、電撃殺虫器、終了予告灯、既存施設撤去工、支障木伐採等

議案第72号

工事名 小峰クリーンセンターごみ搬出設備改修工事
工事場所 山都町小峰 1906 番地 小峰クリーンセンター
契約金額 80,520,000 円（税込み）
契約相手方 株式会社 川崎技研（福岡市南区向野1丁目22番11号）
内 容 ごみ投入ホッパ施設、搬出コンベヤ設置、脱臭装置設置、ごみクレーン改造、電気設備他移設

令和5年度の山都町の事業を、総務・厚生・経済建設の各常任委員会が、各課から説明を聴きながら審査しました。審査結果について定例会本会議で次のとおり報告があり、承認されました。

総務常任委員会

総務課

町の人口減と共に縮減する職員数に対して施策の多様化は進み、町職員の負担は増している。人材育成と職場環境の改善が必要。

教育委員会

通学路における事件や事故から児童生徒を守るためにも、有効なスクールバスの活用を望む。

山都町女性の会連絡協議会の加入数に課題（全28自治振興区中、加入は6団体）。加入組織を増やす対策が必要。

矢部高校応援事業で高校の魅力化・活性化が図られている。町外からの入学生は増えたが寮や下宿先が課題として常態化（※別枠で現状を説明）。矢部高校応援町民会議等での審議を望む。

企画政策課

デジタル技術によって少ないマンパワーを最大限活用して、地域を存続させるための町独自のDX推進を。

税務住民課

住民票などのコンビニ交付が始まり、住民の利便性が上がった。町税等の徴収状況も、現年度分で99・1%と前年度を上回っている。

支所

人員配置の適正化に努め、福利厚生の方からも人的補充を急ぐ必要がある。

厚生常任委員会

福祉課、健康ほけん課、環境水道課、さよう病院、いずれも町民の基本的な人権や生存権の保障のために日々努力を続けていることを高く評価する。ただ、近い将来に直面するであろう介護の担い手不足をどう補っていくのかという課題は残る。

また、千寿苑、清和保健センター、清楽苑、柏老人福祉センターなどの老朽化対策も喫緊の課題である。

どの課にも共通しているのは、職員の不足。計画的な人員配置をお願いする。



住民健診

福祉課

令和4年に始まった子育て相談室の相談件数が上昇している。

病後児保育の利用件数も上がっているが、認知度が上がって登録者が増えたことが要因であると考えられる。

移住者など、父母や親戚のサポートが受け難い方への子育て支援策として、ファミリーサポートセンターの活性化を望む。

シニアクラブへの新規加入が進まない。民生委員の成り手不足が課題となっており、民生委員が働きやすい環境づくりが必要。

環境水道課

令和7年度より、一般ごみの熊本市への搬入が始まることについての関係団体との協議が進んでいる。小峰クリーンセンターを中間処理施設化し、経費を抑える見込み。

リサイクル率が低下している。住民意識の向上を図る必要がある。

健康ほけん課

国保事業は、令和12年度からの保険料の県下完全統一へ向けての協議が進んでいる。

住民健診の受診率が低下している。町の目標65%に対して59・6%と低調であった。更なる啓発が望まれる。

口腔ケアでは1歳6ヶ月健診で虫歯ゼロという素晴らしい結果である。

地域福祉の会などに職員が出向き、制度説明や健康維持の話をする取り組みは継続してほしい。

経済建設常任委員会

農林振興課

農業委員会

- ・ 増え続ける遊休農地に対し、農地中間管理機構・熊本県農業公社と連携して集落や担い手等への農地集積を進めた。

農政係

- ・ 集落営農を推進。国・県の各種補助事業を活用し担い手の確保を。

有機農業推進室

- ・ 有機農業の新規就農者に対し、山都町独自の支援を改めて考えねばならない。

林政係

- ・ 有害鳥獣の被害は緩やかに減少傾向だが個体数の減少には繋がっていない。ICTを導入し、捕獲班と連携した捕獲強化を図る必要がある。

地籍調査係

- ・ 令和5年度末時点での進捗率は64・51%。夏場、熱中症による立会時の負傷事故が報告された。対策を施し万全の体制で。

山の都創造課

- ・ チャレンジ応援山都ラボ事業は、サポーター29名、活動動員数964名と広がりが見える。

- ・ 移住定住促進事業で、337件の移住相談、20組35名が移住。

- ・ 空き家バンク登録物件数は238件、契約済みが153件。

- ・ 定住支援事業補助金を設け、空家の改修に14件、1,338万円を交付し、定住の後押し。

- ・ 矢部高校の生徒に町の事業者から仕事の説明をする「やまと仕事ストア事業」では、参加事業者に3名の就職が内定。

- ・ ふるさと納税事業では委託事業者が代わり、寄附額が大幅に増加。返礼品を工夫し更なる増加に期待。

- ・ SDGsシンポジウム・マルシェを初開催。通潤橋の国宝指定と山都通潤橋IC開通前のイベントとしても注目を集め、約3千人が参加。

商工観光課

- ・ 山都町事業所改修等支援事業で、店舗改修・経営力向上・従業員宿泊施設整備など、事業者を広範囲に支援。

- ・ キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施。約2,600万円の事業費に対し、1億2,552万円の決済総額という経済効果を生み出した。産業振興の下支えに大きな効果。

- ・ 新しい道の駅通潤橋が令和6年1月13日に開駅。

- ・ 通潤橋周辺整備事業では詳細設計を行ない、増加が見込まれる観光客の受け入れ体制づくりを推進している。

- ・ 7月豪雨災害で、河川155件、道路79件、計234件の甚大な被害。過年災が順調に復旧していた最中で、町としては大きな痛手。

- ・ 工事発注で「早期確認型査定」に取り組み、年度内に85件の契約締結に至ったことは評価したい。

- ・ 山都通潤橋ICの開通に併せた高速道路ウォーキングイベントを実施。大勢の参加者があり、九州中央自動車道に対する期待と関心が伺える。早期の全線開通に向けて、国や関係機関への要望活動を継続的に行なっている。

建設課

矢部高校の寮と下宿

町外からの入学者の増加を受けて民間による取組みが進むが、大きな課題が見えてきた。

- 入学生の生活面の受け皿がなく、近隣住民有志がNPOを組織し学生寮を運営
- 利用のない建物を借りて運営するが、古い建物ということもあり、運営費用面、生活環境面で厳しい状況が続く
- 建物の構造上受入人数が少なく、すぐに満杯に
- 昨年度から町では下宿の受け入れ先も募集
- 寮に関しては新設が必要な状況



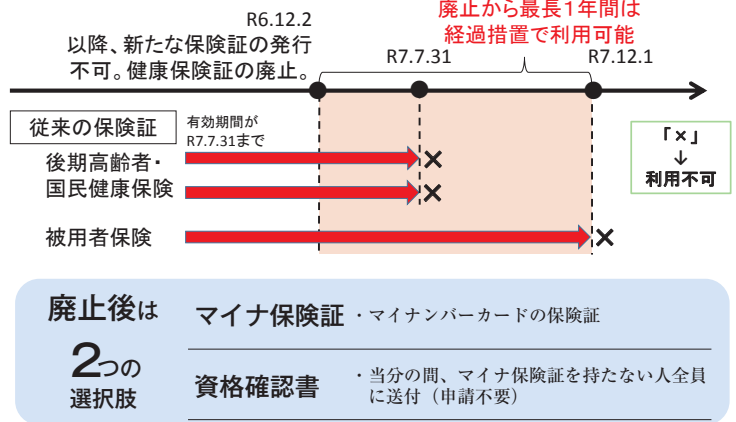
地元 NPO が運営するやまと令和寮

【山都町国民健康保険条例の一部改正】

(概要) 被保険者証を廃止することに関し、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律が令和6年12月2日に施行されることに伴い改正するものです。



廃止後の保険証の取扱い



【山都町すくすく子育て支援住宅条例の一部改正】

(概要) 山都町すくすく子育て支援住宅の管理に際し、入居者の地位の継承・同居者の変更、異動及び新たに同居を希望する人の同居の承認に関する規定について整備するために改正するものです。

【山都町特別会計条例の一部改正】

(概要) 旧国民宿舎通潤山荘の売却によって、特別会計における清算が終了し、山都町国民宿舎特別会計が不要となったため改正するものです。

【山都町営グラウンド条例の一部改正】

山都消防署移転建設の為、御岳グラウンド及び御岳第2グラウンドを廃止することに伴い、改正するものです。

【山都町コミュニティバス条例の制定】

(概要) 民間路線バスの廃線に伴い、その代替え措置としてコミュニティバスの運行を開始することにより、山都町コミュニティバス条例を制定するものです。

議案で説明された時刻表

浜町 発		岩尾野 発	
便	時刻	便	時刻
1		1	7:30
2	10:10	2	10:10
3	15:10	3	15:10
4	18:45	4	

路線図は
前号に記載
しています。

【上益城消防組合規約の一部変更】

- (1) 蘇陽出張所の施設改修に係る経費
- (2) 蘇陽出張所に係る維持管理等費
- (3) 蘇陽出張所の通信指令設備関係更新に係る経費

※(1)に係る経費のうち5割を山都町で負担し、残りの5割を山都町を除く構成3町で負担する。

(2)(3)については令和10年度以降、上記負担割合を基本とし構成町で協議し、最終負担割合を管理者会議で決定する。

【熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更】

熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部が変更されました。(用語の一部変更)

追 認 議 案

契約及び財産の取得については、地方自治法及び条例で議決の必要性が定められています。

今回の追認議案は、過去の動産の買入れ（700万円以上）に該当するものがあったため、議会の追認が求められました。

議案	事件名：財産の取得について(追認)	契約額	年度
第73号	矢部・清和地区小学校教師用教科書等一式	17,305,118	令和元
第74号	蘇陽地区小学校教師用教科書等一式	7,925,698	令和元
第75号	硝化膜分離装置膜板付100枚及び取替膜処分費一式	8,140,000	令和2
第76号	大矢野原演習場関連公共用施設(消防に関する施設：消防団活動装備)整備事業	19,470,000	令和3
第77号	硝化膜分離装置膜板付100枚及び取替膜処分費一式	8,140,000	令和4
第78号	小学校教師用教科書・指導書・指導用教材(矢部・清和地区)	12,555,597	令和5
第79号	小学校教師用教科書・指導書・指導用教材(蘇陽地区)	8,358,574	令和5
第80号	硝化膜分離装置膜板付100枚及び取替膜処分費一式	8,140,000	令和6

追認とは・・・過去にさかのぼって、その事実を認めること。また事後承諾。

陳 情 ・ 請 願

件名…服掛松キャンプ場を含む蘇陽峡周辺の景観と環境を守るための陳情書
提出日…令和5年10月26日
陳情の趣旨…服掛松キャンプ場の健全運営による蘇陽峡周辺の景観と環境の維持を求める
付託委員会…経済建設常任委員会
審査結果…一部採択
審査意見…本陳情は、蘇陽峡周辺の景観と環境の維持のためにキャンプ場の健全な運営を求めること、そのために長崎地区のキャンプ場運営への参画を求めるもの。指定管理者以外の団体が指定管理施設の運営に参画することはできないため、キャンプ場の健全な運営を求めることについてのみ採択とした。
採決結果…賛成多数により可決

発 議

今回の発議はその日のうちの採決にはならず、全員協議会を経ての採決になりました。

9月11日 発議

・委員の選出方法について質疑が集中
・別途全員協議会にて協議することに

9月25日 全員協議会

・設置の必要性に関する意見が飛び交う

9月27日 採決

件名…特別委員会の設置について
発議年月日…令和6年9月11日
内容…議会のあり方研究特別委員会の設置目的…議員の成り手不足など、全国的な議会を取り巻く諸問題の解決に向けて、現代の社会情勢に呼応した議会のより良い形を模索・研究するためには、特別委員会を設置して作業に臨む必要があるため。
採決結果…賛成少数により否決

賛 否 の 表

○：賛成 ●：反対

事 件 名	議 決 年月日	採決 結果	東	坂 本	眞 原	西 田	中 村	矢 田	興 梶	藤 川	飯 開	吉 川	後 藤	工 藤	藤 原
修正案 令和6年度山都町一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	R6.9.12	否決	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議案第62号 令和6年度山都町一般会計補正予算(第3号)について	R6.9.12	可決	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号 特別委員会の設置について	R6.9.27	否決	●	●	○	○	●	○	●	●	●	○	○	●	○
陳情第8号 服掛松キャンプ場を含む蘇陽峡周辺の景観と環境を守るための陳情書	R6.9.27	一部採択	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○

【お詫びと訂正】

議会だより第53号の2ページ「路線図」に関し、間違いが3箇所ありました。お詫びして、訂正します。
(誤)清和文学邑→(正)清和文楽邑
(誤)弊立宮前→(正)幣立宮前
(誤)萩原→(正)荻原

表紙写真

第18回山都町写真コンテスト インスタグラム部門 山都町長賞

撮影者：松田 薫さん(福岡県塚家市在住)51歳 場所：馬見原商店街
(本人コメント)紅葉の時期に馬見原商店街を散策。商店街の奥に見えた明德山(東公園)の色とりどりの美しい紅葉が目にとまりカメラを向けました。自然豊かで風情ある景色は山都町ならではの感じました。

「議会だより」に関する
ご意見・ご感想は
右記のQRコードから
お寄せください。

QRコード(インターネット)



次の定例会は、
12月の予定です。

※詳しい日程等については、議会事務局まで
お問い合わせください。(☎72-1289)

本誌に掲載していない9月定例会の議案
と議決結果は、山都町HPに掲載してあります。



編集後記

今回の議会では、補正予算や議案審議等、その活性化につながる意見が、多く出されました。

議会便りにしても、編集の仕方、議会のあり方等、皆さんの意見をもとに、本誌にありたいです。

今後、皆さんの意見を、親身よく読み、議会便りになるよう、編集したいと努めます。

編集 山都町議会事務局

発行責任者 議長 藤澤 和生

議会広報委員会 委員長 眞原 誠

副委員長 西田由未子

委員 矢田秀典 興梶 誠 後藤 壽廣 工藤 文範